

コロナが蔓延し尽した今、これからの私達の生活のあり方は？ パート7、

7月半ばより始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）オミクロン株の第7波は想定を超えてはるかに蔓延拡大してしまいました。今はややピークは越えた感がありますがそれでも医療が回らなくなったために、全数把握の見直しが全国知事会や日本医師会などから出されました。

それを受けて政府も1週間ほど前に各知事の判断に委ねる旨の通知を出しました。しかしながら、これも予想に反して、今度は知事たちが逆のことを言い出しました。見直しを決めたのは47都道府県のうちたった4県のみでした。殆どの知事さん達にはどうも主体的判断能力がない、という事を露呈してしまったような感があります。

今更どちらでも構いませんが、私達スタッフにとってはこれまで通りの個々人が主体的な行動をとって行く以外の良い方法はありません。

幸いこれまで私達の施設ではスタッフ皆が主体的に行動してきて頂いたためか、今のところクラスターは発生しておりません。老健の特色である多職種協働の実践ができていることを示してくれていると思っています。

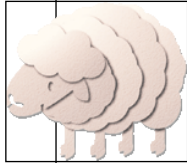
これまでは、私達は運がよかった、とも言えますが、これからも徒らに迷うことなくこの「多職種協働」を今まで通り自覚しながら、着実に実践していきましょう。

何度でも言いますが、感染予防のポイントは2つ、

1、一つはこれまでの予防対策の基本（マスク・換気・黙食・手指消毒等）を守っていればまず感染しませんし、万一本人が感染したとしても、他人に感染させる心配はないことが分かっています。

2、二つ目のポイントは、周りに感染者があふれていますので県外移動云々は意味ありません。不特定多数と接触する場合、友人でも久しぶりに会う場合、これを意識することです。この場合には「2日ルール」、「3日ルール」、「5日ルール」のどれかをリスクに応じて適用することになりますのでホウレンソウをお忘れなく。

行政上の感染対応の考え方も一般インフルエンザとほぼ同じで良いということになりましたが、重症化率も後遺症もインフルエンザよりは高く、特に高齢者の重症化率が高い、ということは高齢者施設で働く我々は忘れてはいけません。 そのためにはホウ・レン・ソウ（報告連絡相談）の徹底です。

<p>老人保健施設一羊館の理念</p> <p>利用者の方々すべてに<b>尊厳・安心・満足</b>を！</p> <p>一羊館の行動指針</p> <p>私たちは、<b>保健・医療・福祉の架け橋</b>のプロに徹します。 私たちは、<b>利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立</b>を目指します。 私たちは、<b>質向上のために日々の小さな工夫</b>を忘れません。</p>	
<p>話合いの3原則：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。</li><li>②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。</li><li>③正解は一つではないことを自覚して自制します。</li></ul>	